

「みんなのための食品安全勉強会」

食品安全委員会では、2017年度から、消費者の皆さまを対象に、食品の安全に関する基礎的な科学的知識を広く普及するための講座として「みんなのための食品安全勉強会」を企画し、11月に札幌で、12月には東京で開催しました。

本講座では、まず、食品安全委員会事務局から、「食べ物と食品安全の基本」と題し、食品の安全を確保するための枠組みであるリスクアナリシス



佐藤委員長の講義（東京）

や、食品のリスクとの付き合い方等の基礎的なことについて、情報提供しました。次いで、佐藤委員長から、「カフェインの安全性及びコーヒーについて」と題し、カフェインの作用やカフェインを含む代表的な飲み物であるコーヒーと健康の関係について、情報提供しました。会場からは、「コー

ヒーを飲んでいてカフェインに対する耐性がつくことがあるか」、「カフェインの眠気覚ましについて、量と効果の範囲を知りたい」等の質問が寄せられました。

近年、カフェイン入りのエナジードリンク、錠剤等が普及し、摂り方によ



勉強会の様子（東京）

では、カフェインの過剰摂取の懸念もあることが指摘されています。食品安全委員会では、本講座のほか、報道関係者や消費者団体とカフェインをテーマとした意見交換をするとともに、季刊誌、Facebook 等を通じて情報提供を行っています。



会議資料詳細

<http://www.fsc.go.jp/fscis/meetingMaterial/show/kai20171113ik1>

平成 29 年度 JICA九州 開発途上国研修

インドネシア、ミャンマー、タイ、トンガなどで食品安全行政に携わる方々が、研修に来られました

2017年10月6日、10名のJICA（独）国際協力機構）研修生の皆さまが訪問され、「食品安全委員会（リス



JICA 研修生の皆さま

クアナリシスを中心に）」と題した研修を行いました。

質疑応答では、「リスク評価はリスク管理機関の要請に対してのみ行うのか」、「リスク管理機関から評価の要請が途絶えることはないのか」、「新開発食品とは何か。また、それらの総合的評価とはどのような内容か」等、食品安全委員会の活動に対する様々



研修の様子

な質問があり、帰国後に自国の食品安全行政を担う皆さまの熱意が伝わってきました。

研修生の皆さまの帰国後の更なるご活躍を祈念いたします。